

[理科学習案内：3年]

1. 4つの観点をABCで評価し、それをもとに5段階の評定をつけています。

以下は、4つの観点とその評価内容です。

<① 自然事象への関心・意欲・態度>

理科の学習に前向きに頑張ろうとする態度

★授業での学習活動に対する取組む姿勢、チェックテストや挙手、提出物の内容、定期試験問題の中で簡単に暗記できるようなところの点数などを評価します。

<② 科学的な思考・表現>

観察・実験の結果から規則性に気づいたり、既に学んだ規則性や法則・知識から課題を解決する能力

★実験結果からの考察や発言、定期試験で評価します。

<③ 観察・実験の技能>

観察・実験を行うときに、器具を正しく使い、安全に操作できる力。また、結果をグラフにしたり、まとめたりする能力で評価します。

★観察・実験中の操作の仕方、研究レポートがある場合はそのまとめ方、実験・観察に関わる試験問題などで評価します。

<④ 自然事象についての知識・理解>

自然に関しての原理や法則を理解し、知識が身についているか。

★おもに試験で見えていきますが、授業中の練習問題や課題への取り組みも評価します。

2. お願いしたいこと

① 予告された問題に対する取り組み

定期試験では、その内容の一部を前もって予告しています。この内容については、きちんと準備し、得点してほしいと思います。

② 提出物

提出物は、必ず期限内に出すようにしてください。

③ 観察・実験（VTR視聴も含む）に対する積極的な姿勢（準備と取り組み）

実験目的を理解した上で、実験に臨むようにしてください。まとめ方を自分なりにノートや教科書にメモすることも大切です。

3. 一年間の学習内容

1 分野

1. 化学変化とイオン

1章 水溶液とイオン

実験により、電気を通す水溶液を調べ、どのような水溶液が電気を通すのかを調べます。イオンの状態とはどのような状態なのかを理解します。

2章 化学変化と電池

実験より、電気が流れる状態と化学変化のしくみについて知ります。

3章 酸、アルカリとイオン

実験より、酸やアルカリの性質を学習してイオンとは何であるかを探求します。

3. 運動とエネルギー

1章 物体のいろいろな運動

実験より、物体の運動にはどんな運動があるのかを調べます。日常生活と関連づけて考えます。

2章 力の規則性

実験により、力の規則性を発見し、日常生活の中で利用されている場面について考えます。

3章 エネルギーと仕事

運動する物体のもつ性質や物体のエネルギーについて力のはたらきをもとにして学びます。エネルギーの移り変わりについて知ります。仕事について運動と力の関係を理解します。

5. 地球と私たちの未来のために

第4章 科学技術と人間

科学技術の進歩により生活が変わってきたことを理解し、人間の活動について考えます。

終章 持続可能な社会をつくるために

持続可能な社会とはどのような社会なのかを理解し、今後どのようなことをして生活していけばよいのかを考えます。理科で学んできた知識を生かし、持続可能な社会をつくることを考えます。

2分野

2. 生命の連続性

1章 生物の成長と生殖

生物成長について細胞のレベルで考えます。細胞分裂から生殖のことについて学びます。

2章 遺伝の規則性と遺伝子

遺伝の仕組みを理解し、その規則性を見出し遺伝子のはたらきを知ります。生物の持つ生命の連続性とはどのようなものかを探求します。

4. 地球と宇宙

1章 宇宙の広がり

宇宙について学習し、地球や太陽を中心とする惑星についての知識を身につけます。

2章 地球の運動と天体の動き

地球の動きによって見える天体のようすや天体の動きを知り、季節によって変化する現象や天体の見え方を理解します。

3章 月と惑星の見え方

月の動きや惑星の動きを理解し、地球からの見え方を考え理解する。

5. 地球と私たちの未来のために

第1章 自然の中の生物

自然界にはどんな生物が存在するのを知り、生物どうしのつながりや役割を理解し、自然界で起こっている食物連鎖について考えます。

第2章 自然環境の調査と保全

身の回りの自然界にはどのような生物が生活しているのを調査し、自然を保全していくことについて考えます。

第3章 自然の恵みと災害

自然から受ける恵みについて知り、災害が起きた場合の自然界の状況について考えます。

4. 評価

観点別評価（ABC）と評定（54321）：観点別評価をもとに5段階で評定します。

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価（ABC）と評定（5段階）を行います。

5. 定期テスト

化学・物理分野（1分野）と生物・地学分野（2分野）からそれぞれ50点分出題し、合計を理科の点数とします。

両方の分野の同観点を合計して評価していきますので、どちらの分野もしっかりと学習し、定期テストに臨んでください。